

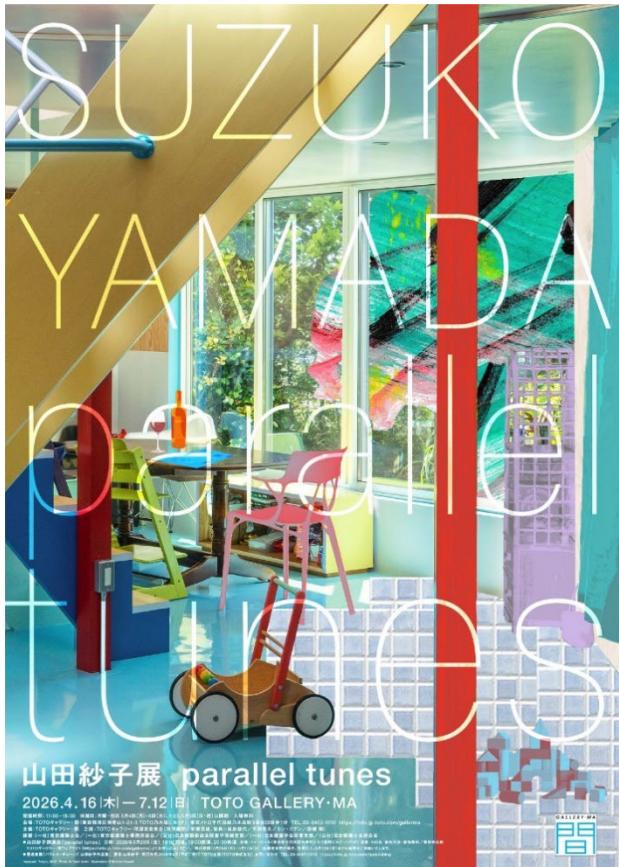


山田紗子展 parallel tunes Suzuko Yamada: parallel tunes

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:田村 信也)が、社会貢献活動の一環として運営している「TOTOギャラリー・間(ま)」(東京都港区)は、建築家 山田紗子氏の初の個展「山田紗子展 parallel tunes(パラレル・チューンズ)」を、2026年4月16日(木)~7月12日(日)の会期で開催します。

「EXPO 2025 大阪・関西万博」では休憩所の設計を手掛け、近年は公共図書館のプロポーザル最優秀者として選定されるなど、活躍の幅を広げている山田紗子氏。本展では、ギャラリー空間を環境と捉え、自然、生物、ランドスケープなどが複雑な旋律を奏でながら共鳴する、氏独自の世界を表現します。

また、関連イベントとして、山田紗子講演会「parallel tunes」を、2026年5月29日(金)に開催します。



本展ポスター

展覧会

会期——2026年4月16日(木)~7月12日(日)

会場——TOTOギャラリー・間

東京都港区南青山1-24-3

TOTO乃木坂ビル3F

休館日——月曜・祝日、5月4日(月)~6日(水)、

ただし5月3日(日・祝)は開館

開館時間——11:00~18:00 入場無料

講演会

開催日——2026年5月29日(金)

18:00開場、19:00開演、20:30終演(予定)

会場——イイノホール

東京都千代田区内幸町2-1-1

飯野ビルディング4F

定員——500名

参加方法——参加無料／事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト

(<https://info.jp.toto.com/gallerma>)

よりお申し込みください

申込期間——3月25日(水)~5月17日(日)

※申込み多数の場合、抽選の上、

5月22日(金)までに結果をご連絡いたします。

展覧会概要

TOTOギャラリー・間では、自然と人とのことが響き合う、新しい建築を予感させる注目の建築家、山田紗子氏の初の個展「山田紗子展 parallel tunes」を開催します。

思いもかけない自由な造形と大胆な構成、斬新な色彩の展開、生命感に満ちた作品やインスタレーションなど、山田紗子氏が創り出す世界は、私たちのイマジネーションを触発し、建築にフレッシュな息吹をもたらしています。自邸「daita2019」で2020年日本建築設計学会賞大賞を初めとする数々の賞を受賞、「EXPO 2025 大阪・関西万博」では休憩所の設計を手掛け、樹木群と人工物が渾然一体となる環境を立ち上げました。近年では、観光牧場のリニューアルプロジェクトの実現や公共図書館のプロポーザル最優秀者として選定されるなど、活躍の幅を広げています。

野生動物を記録する映像ディレクターを母にもつ山田氏は、幼少期より大自然の中で逞しく命を営む生き物たちの情景を観ながら育ちました。山田氏のルーツには、絶え間なく風景が移り変わる悠久の時間の中で多様な生命が奏でる、無数の歌声が響く大地があります。

「いくつもの歌が同時に響いているような建築をつくりたい」と語る山田氏が目指す建築とは、統制された旋律美ではなく、それぞれの要素が互いの存在を主張し、ぶつかり合い、反響しあうことで新たな音律を生み出す、騒がしくも賑わしいポリフォニー(多聲音楽)の在り方です。山田氏は、日々複雑さを増す今日の世界を多声的と捉えて肯定しつつ、躍動感のある豊かな環境を創り出そうとしています。

本展では、ギャラリー空間を環境と捉え、自然、生物、ランドスケープなどが複雑な旋律を奏でながら共鳴する氏独自の世界を表現します。ぜひご期待ください。

TOTOギャラリー・間

展覧会詳細

展覧会名(日)—— **山田紗子展 parallel tunes**

展覧会名(英)—— **Suzuko Yamada: parallel tunes**

会期—— 2026年4月16日(木)～7月12日(日)

開館時間—— 11:00～18:00 入場無料

休館日—— 月曜・祝日 5月4日(月)～6日(水)、ただし5月3日(日・祝)は開館

会場—— TOTOギャラリー・間
(〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F)
東京メトロ千代田線乃木坂駅3番出口徒歩1分 TEL:03-3402-1010

主催—— TOTOギャラリー・間

企画—— TOTOギャラリー・間運営委員会
(特別顧問=安藤忠雄、委員=貝島桃代／平田晃久／セン・クアン／田根 剛)

後援—— (一社)東京建築士会／(一社)東京都建築士事務所協会／(公社)日本建築家協会
関東甲信越支部／(一社)日本建築学会関東支部／(公社)日本建築士会連合会

出展者プロフィール

山田紗子 (Suzuko Yamada)

1984年東京都生まれ。山田紗子建築設計事務所代表。ランドスケープデザインを学びながら建築に興味を持ち、藤本壯介建築設計事務所に入所。その後、東京藝術大学大学院で建築を学ぶ。大学院在学時に東京都美術館主催「Arts & Life: 生きるための家」展で最優秀賞を受賞。独立後「daita2019」「miyazaki」等の住宅や、「outline bar」といったアートインスタレーションで、建築の領域を押し広げるような作品を展開する。近年は「EXPO 2025 大阪・関西万博休憩施設」や「やぶ市民交流広場 YBパーク」など、公共空間の設計も手掛けている。主な受賞に、第3回日本建築設計学会賞大賞、第36回吉岡賞、Under 35 Architects exhibition 2020 Gold Medal、第3回小嶋一浩賞など。



© Fujii Yui

関連イベント

山田紗子講演会「parallel tunes」

日時——2026年5月29日(金) 18:00開場、19:00開演、20:30終演(予定)

会場——イノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4F)

定員——500名

参加方法——参加無料／事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト(<https://info.jp.toto.com/gallerma>)よりお申込みください。

申込期間——3月25日(水)～5月17日(日)

申込み多数の場合、抽選の上、5月22日(金)までに結果をご連絡いたします。

注意事項——※当講演会では未就学のお子様連れのお申し込みはご遠慮いただいております。

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。最新情報はTOTO ギャラリー・間ウェブサイトをご確認ください。

関連書籍

『パラレル・チューンズ 山田紗子作品集』

著者——山田紗子

発行年月——2026年4月(予定)

発行——TOTO出版(TOTO株式会社)

TEL 03-3497-1010

<https://info.jp.toto.com//publishing>

parallel tunes

パラレル・チューンズ

あるとき「daita2019」を訪れた人が、いくつもの歌を同時に聴いているようだと言った。吹き抜けをじぐざぐと横断する階段、階をまたいで伸び広がる本棚、あちこちから垂れている丈の長いカーテン。見渡してみると、それらが互いを睨みながら動き、それぞれの旋律をもって生活の一角をかたちづくっていることに気づく。

ものには率直なあり方、生まれもった姿がある。柔らかかったり、断続的であったり、まっすぐ伸びていたり、鈍重であったりする。それらが力学や機能、さらに隣り合うもの同士の関係によって伸び縮みし、いくつもの旋律が生み出される。その場を規定するフレームよりも、そんなどりどりの歌が浮かび立ち、ぶつかり合いながら併走する。それはとても生き生きとした、騒がしい世界だ。そもそも私たちの周りには、ユニークでアンバランスなもののたちが、ひとつのルールに収まりきれずに蠢(うごめ)いている。調和を目指すシンフォニーではなく、和音も不協和音も同時に響く、ポリフォニーとして世界を描きたい。

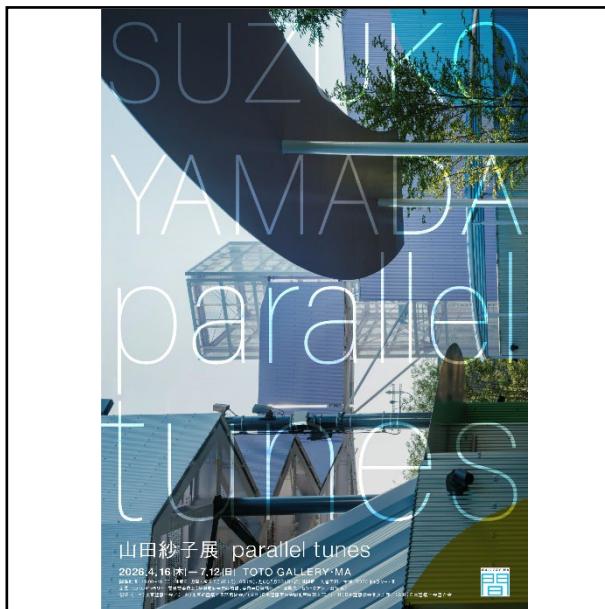
そんな世界を肯定しようと、ドローイングを描く。模様を描いては輪郭を与え、さらに別の模様を重ねていく。新たな躍動を目論見ながら、型を破り、他者との応酬を促す。建築をつくることで、このカラフルで騒がしい世界への連なり方を探りつづけている。

山田紗子

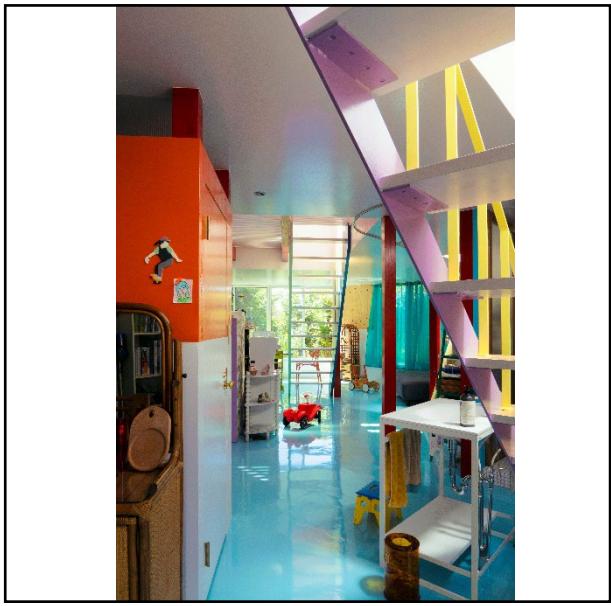
広報用図版1



[1] 展覧会ポスター
(写真:miyazaki, Tokyo, 2022)
Photo © Rumi Ando
Illustration © Kokoro Suzuki



[2] 展覧会リーフレット
(写真:expo'25 rest area 3, Osaka, 2025)
© Yosuke Otake



[3] miyazaki
Tokyo, 2022
© Rumi Ando

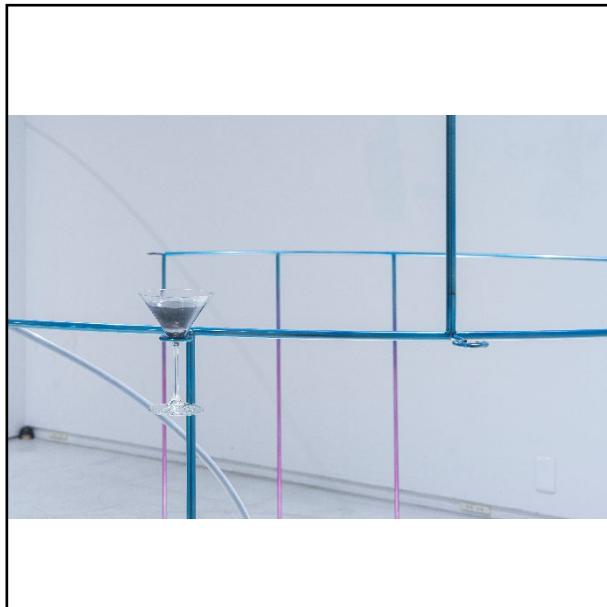


[4] nu:kuju
Oita, 2025
© Yosuke Otake

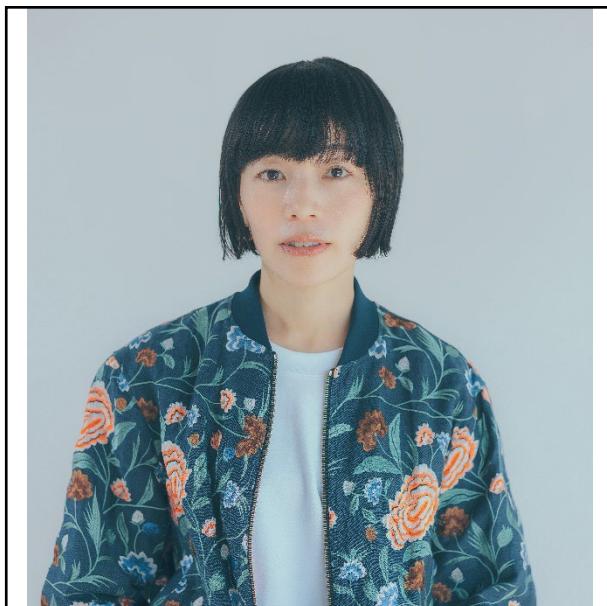
広報用図版2



[5] daita2019
Tokyo, 2019
© Kei Sasaki



[6] Outline bar
Tokyo, 2023
© Kei Murata



[7] 山田紗子ポートレート
© Fujii Yui

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、40年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」は、建築家がもつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築の文化的な価値を社会に発信しています。



共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、
「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として
サステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>